

地域防災の要

わがまちを守る消防団

「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、市民によって結成される消防団。地域の安全と安心のため、日々訓練に励んでいます。災害発生時には消火活動や救助活動に従事し、平常時は消防と防災に関する知識を学んで普及に取り組みなど、地域の防災リーダーとして活躍しています。

西尾市消防本部総務課消防担当 (☎56・6250)

西尾市消防団

4つの団で520人が活躍

西尾市には、一色・吉良・幡豆・機能別の4つの消防団があり、520人の消防団員が各地域で活動しています。

一色・吉良・幡豆の各消防団は、23年4月の合併前から活動しています。それぞれの管轄で年間を通して訓練し、火災現場などへの出動に備えています。

機能別消防団は、消防団がなかった旧西尾市地区で28年10月に発足。小学校区ごとに分団が組織され、大規模な災害時と地域での防災啓発に限定して活動しています。

女性分団も組織

機能別消防団は、消防と防災に関する広報や救命講習会の指導などを行う女性分団も組織しています。所属する15人の団員は、女性の持つ柔らかな雰囲気を生かして活動しています。



女性分団の啓発活動

新制度

大学生団員の功績を認証

12月1日から「西尾市消防団大学生等活動認証制度」を始めます。消防団活動に真面目に継続して取り組む大学生・大学院生・専門学校生の功績を市が認証することで、就職活動を支援する制度です。

認証されると、就職活動の際に消防団員として地域に貢献してきた実績を企業にアピールできます。大学生の皆さんは、この機会にぜひ消防団に入団してください。企業の方は学生団員の採用にご協力ください。

認証状の見本



消防団員

団員の身分

特別職の地方公務員です。活動服の貸与や報酬・手当(費用弁償、表彰などが受けられ、活動中にけがをした場合などは公務災害補償が適用されます。

仕事の傍ら訓練に励む

ほとんどの団員は仕事をしているため、訓練は夜間や休日に行われます。災害発生時には昼夜にかかわらず消火活動や救助活動、避難誘導に従事します。日頃は、地域の防災訓練に積極的に参加し、習得した知識の普及や啓発に努めています。

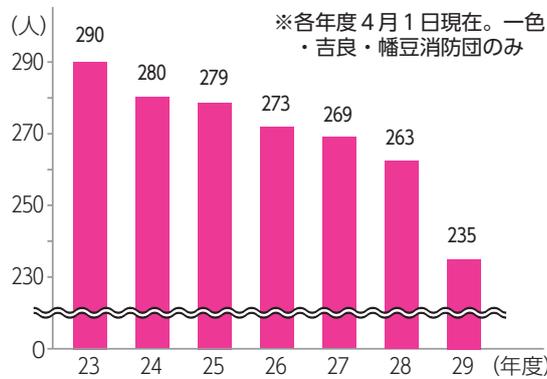


操法発表会

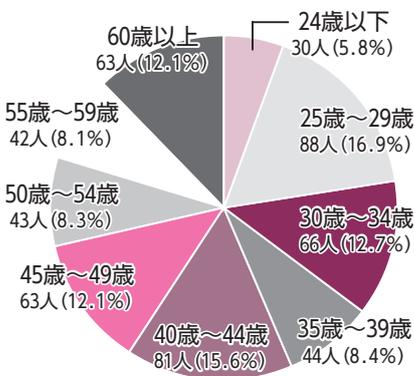
減少傾向にある団員数

近年、団員数は減少傾向にありま
す。また、平均年齢が高く、24歳以
下の団員は30人で全体の5.8%。
若い団員の確保が課題です。市では
「西尾市消防団応援の店」制度を導
入したり、消防団と団員を積極的に
PRしたりするなど、団員の確保に
取り組んでいます。

団員数の推移



団員の年齢構成



1年間の行事

訓練や啓発活動以外にも、さまざま
な行事に参加しています。毎年8
月には、県内各自治体の消防団員が
参加する県消防操法大会で、ポンプ
車を用いた放水の正確性やタイムを
競い合います。今年は碧南市で開催
され、一色消防団が出場しました。



団員を募集

消防団では、地域とのつながりや
団員同士の親睦を深め、一生の間
を築くことができます。地域に貢献
したい方や興味のある方は、ぜひご
応募ください。

対象 市内在住または在勤の18歳以
上で健康な方。性別は問いません。

募集期限 2月28日(水)まで

※30年4月1日入団。募集期限を
過ぎても随時受け付けます。

申込方法 直接または電話で市消防
本部総務課消防担当(☎56・62
50)へ。

地域で応援

西尾市消防団 応援の店

「西尾市消防団応援の店」制度
は、消防団を地域で応援する制度
です。団員カードを持つ団員やそ
の家族が応援の店を利用する際、
値引きや粗品進呈などの特典を受
けられます。

●協力店を募集中

制度への協力で、社会貢献をし
ているという企業のイメージアッ
プや、消防団員の集客率を高める
効果が期待できます。加盟店の店
舗名や特典内容などを団員に知ら
せるとともに、市ホームページで
紹介します。

申込方法 直接または電話で市消
防本部総務課消防担当(☎56・
6250)へ。



西尾市消防団応援の店
の表示証

全国で発生している大規模災害。
各地の消防団が救援活動などで活躍
しています。自分たちの住むまちを
災害から守るためには、地域に密着
した防災リーダーが不可欠です。消
防団への応援と入団をお願いします。